学校番号	1011

令和８年度　(専)美術科

教科	(専)美術	科目	(学)生活美術	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1年次に美術Ⅰを選択していない生徒も選択できるように開講された講座です。「美術Ⅱ」に準じますが、学習する内容は主にデザインと工芸です。具体的には前期に文化祭のポスターを制作し、後期に創作マスクを制作します。どちらの課題もコツコツと時間をかけてていねいに作業をすると仕上がります。作品の上手い・下手よりもその制作過程を重視します。学年末に合評会をして他の生徒の作品の感想を鑑賞リポート用紙に記入します。

2　学習の到達目標

・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，個性豊かで創造的に表すことができる。

・造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり，自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。

・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性と美意識を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成して創造的に発想し、構想を練り、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	主体的にデザイン・工芸の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	デッサン	木片を持った自分の手を鉛筆でデッサンする	a:陰影を描けている b:正確に形を描写できている c:自分なりにしっかりと取り組もうとしている	作品	作品	授業観察 作品
	ポスター下絵	文化祭ポスターの下絵を考え、色鉛筆で着色する	a:条件を考慮してデザインしている b:魅力的な構図を意識している c:丁寧に着色しようとしている	作品	作品	授業観察 作品
2学期	ポスター制作	下絵を元に B1 のパネルにポスターカラーで着色する。	a:正確な規格で枠を作れている b:意図に応じた色彩を意識して作れている c:ムラやはみ出しの修正を丁寧に行おうとしている	作品	作品	授業観察 作品
	創作マスク	下絵を色鉛筆で描く。 油土で下絵を元に原型を作る	a:立体を意識して下絵を描いている 油土の特性を理解して原型を作れている b:主題を自分で設定し、オリジナルのデザインを考えている c:妥協せず主題に沿うように工夫しようとしている	下絵 原型	下絵 原型	授業観察 下絵 原型
3学期	創作マスク	粘土の原型に和紙を5重に張り重ねる。 張り子塗料を塗る。 アクリル絵の具で着色する クリアラッカーを塗る。	a:全面が 5 層以上になるように張れている b:造形の美しさを意識して仕上げている c:最後まで丁寧に取り組もうとしている	作品	作品	授業観察 作品
	合評会	全員のマスクを前に展示して合評する。一人一人の作品にコメントを書く。	a: 自他の作品のよさや美しさを発見できている b:発見したことを適切に表現できている c:興味を持って取り組み、自分なりに真剣に向き合おうとしている	鑑賞リポート	鑑賞リポート	授業観察 鑑賞リポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度